



出会い、支え合い、喜びあえる仲間！

～熊野町老人クラブ連合会～



超高齢社会の中、シニアライフをどう生きるかは重要な課題です。

今回は、様々な活動を通じて、地域で仲間づくり、健康づくりに取り組んでいる熊野町老人クラブ連合会(町老連)会長の岡野隆之さんにお話を伺いました。



▲岡野隆之会長

Q 町老連の紹介をお願いします。

A 老人クラブは、地域を基盤とし、概ね60歳以上の高齢者を会員とする自主的な組織です。町老連は現在、11の単位クラブ、750人の会員で構成しており、今年、設立53周年を迎えました。

Q どんな活動をされていますか。

A 健康づくり活動として、グランドゴルフ大会を春と秋の年2回行っています。毎回、150人が参加し、団体戦の優勝チームは県大会に出場しています。ゴルフ大会も年2回実施しています。健康寿命を延ばして介護のいらぬ体づくりに励んでいます。



◀大勢が参加した日帰り研修旅行

仲間づくり活動では、県内外の観光とグランドゴルフを組み合わせた日帰り研修旅行を行っています。

生きがいづくり活動では、町民会館ホールで芸能発表会を行っています。毎回200人の参加者がカラオケ、民謡、踊りなどを披露されています。三村町長も歌で参加いただいています。



◀楽しい芸能発表会

Q 課題や悩み事などはありますか。

A コロナ禍で会員数が大幅に減少しました。老人クラブには60歳から加入できますが、60歳代は仕事などで忙しく、70歳代が活動の中心となっています。会員増強と併せ、若い方が積極的に参加できるメニューを作りたいと思います。

Q 新しい取り組みはありますか。

A 今年からパークゴルフ大会を始めました。近隣に専用のパークゴルフ場もあり、新しい会員の開拓につなげたいと思います。



◀パークゴルフ大会の様子

Q 町や議会への要望はありますか。

A 私たち老人クラブは、これからも支え合う地域の現場で、安全安心なまちづくりに貢献していきたいと思っています。

また、会員増強に向け、クラブの会報誌や勧誘チラシを作成したいと考えています。町には、運営資金とノウハウについて、これまで以上の支援をお願いします。

今後のご活躍を期待しています。

今日はありがとうございました。

取材／光本一也